

# The Whisper from Amherst



## エミリイのささやき

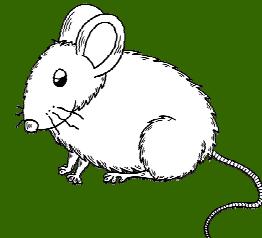
エミリイは小さきものをこよなく愛していました。今日はそんなエミリイをテーマにした小さな本を紹介します。みすず書房から出版されている『エミリ・ディキンソン家のネズミ』です。

ディキンソン家に住みついた白いネズミとエミリイが交換日記のように詩のやりとりをしながら友情を深めていくこの本の中には、エミリイの詩が12篇編みこまれており、その中のどの詩をとっても、エミリイの女性らしさ、愛らしさが感じられます。

白ねずみのエマラインは物語の中で、エミリイは自分の恐怖をわかってくくれていると書いています。つまり白ねずみは、エミリイ自身でもあり、この詩をとおして天の父の王国、つまり天国に自分の居場所をつくってほしいと懇願しているのです。



### Papa above!



Papa above!

天の父よ！

Regard a Mouse

猫に追いかけられる

O'erpowered by the Cat!

ネズミを見まもってやってください。

Reserve within the kingdom

あなたの王国のなかに

A "Mansion" for the Rat!

ネズミの「家」をつくってやってください。



Snug in seraphic Cupboards

淨らかな戸棚で心おきなく

To nibble all the day,

一日じゅうエサを齧らせてやってください。

While unsuspecting Cycles

そして、なにくわぬ顔で、

Wheel solemnly away!

厳かに、月日を巡らせていってください！



(みすず書房「エミリ・ディキンソン家のネズミ」 長田 弘 訳より)